

Ⅵ 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	演芸
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	有
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきしゃだんほうじん らくごげいじゅつきょうかい 公益社団法人 落語芸術協会		
代表者職・氏名	会長 田ノ下雄二		
制作団体所在地	〒 160-0023		
	東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎2F		
電話番号	03-5909-3080	FAX番号	03-5909-3082
ふりがな 公演団体名	こうえきしゃだんほうじん らくごげいじゅつきょうかい 公益社団法人 落語芸術協会		
代表者職・氏名	会長 田ノ下雄二		
公演団体所在地	〒 160-0023		
	東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎2F		
制作団体 設立年月	昭和5年10月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事(会長)/春風亭昇太 代表理事(副会長)/春風亭柳橋 理事/三笑亭夢太朗 他13名 常任理事(事務局長)/田澤祐一 監事/桂歌助 他2名	団体構成員:232名 主な構成員:春風亭昇太・春風亭柳橋・桂米丸・三遊亭遊三・春風亭小柳 枝・桂米助・三遊亭小遊三・ナイツ・宮田陽昇 加入条件:落語を専門の業とするもので3年以上の経験を有する者、および 落語以外の寄席芸能実演家でこの法人の目的に賛同して入会した者。	
事務体制の担当	他の業務と兼任	本事業担当者名	武田史子
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	田澤祐一

制作団体沿革	昭和05年 会長春風亭柳橋(先々代)、副会長柳家金語楼が日本芸術協会を設立。 昭和09年 柳亭左楽が会長を務める落語睦会を合同する。その後桂小文治(先代)が副会長となる。 昭和49年 古今亭今輔(先代)が会長に就任。 昭和51年 桂米丸が会長に春風亭柳昇が副会長に就任。 昭和52年 文化庁より社団法人の認可を受け、社団法人落語芸術協会と改称。 平成11年 桂文治(先代)が会長、桂歌丸が副会長に就任。 平成16年 桂歌丸が会長、三遊亭小遊三が副会長に就任。 平成23年 4月 1日 公益社団法人の認可が下り、公益社団法人落語芸術協会と改称。 平成30年 7月 2日 会長桂歌丸が死去。平成30年6月総会にて、三遊亭小遊三の会長代理兼任が決まっていたため、代表理事として三遊亭小遊三が会長代行を務めた。 平成元年 6月27日 春風亭昇太が会長に、春風亭柳橋が副会長に就任。現在に至る。			
学校等における公演実績	当事業にて平成15年より全国各地で毎年平均20校程度巡回公演を実施。 台東区の小学校約20校を対象に、浅草演芸ホールにて平成16年から毎年数十日公演。 横浜市の小学校約20校を対象に、横浜にぎわい座にて平成17年から6月・10月頃に5日間程度ずつ公演。 平成27年からは東京都アーツカウンシル事業、平成28年からは新宿区・東京オリンピック・パラリンピックを契機とした伝統文化理解教育で各10～15校程度公演を実施。 依頼公演としては、平成24年6月学習院初等科、平成28年10月江戸川区小岩小学校、平成29年柏市立松葉第一小学校、平成29年6月日大山形高等学校平成30年10月横須賀市立神明小学校、大森学園高等学校、令和元年7月慶應義塾湘南藤沢中等部・高等部等。 (記載のない年も多数実施しており、毎年継続している学校もあり実績を積んでおります)			
特別支援学校における公演実績	平成22年03月 広島県立広島特別支援学校 平成22年11月 長崎市立桜が丘特別支援学校 平成25年02月 北海道帯広盲学校 平成28年01月 都立矢口特別支援学校 平成28年09月 南大沢学園特別支援学校 平成29年06月 都立江東特別支援学校 平成29年07月 都立品川特別支援学校 平成29年09月 南大沢学園特別支援学校 平成29年12月 葛飾区立保田しおさい学校 平成30年07月 都立品川特別支援学校 令和03年07月 中野区立第二中学校特別支援学級			
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有	
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有	
		※公開資料有の場合URL		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:		
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料		
		※公開資料有の場合URL		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
	PW:			

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 公益社団法人 落語芸術協会 】

対象	○	小学生(低学年)	○	中学生		
	○	小学生(中学年)				
	○	小学生(高学年)				
企画名	「寄席」を体験しよう！～演じるヒトも「よっ、日本一！」～					
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	●「牛ほめ」 ●「初天神」など、子供たちにも理解しやすい演目を予定。 原作: 古典落語のほとんどの演目は、原作者不明とされている。 脚本: この落語会で演じられる古典落語は、江戸時代から継承される口演台本があるが、必ずしも全てが明文化されているわけではなく、ほとんどが師匠などからの口伝によるものである。 演出: 師匠から教わったものを基本として、演者それぞれ経験からしぐさや言い回しを工夫し、自ら演出する場合がほとんどである。 ※古典落語は口伝により自由に演じられることで大衆に広まってきた背景もあり、慣例から口演することに関して著作権は特にない。					
著作権		制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況		
演目概要	●「牛ほめ」あらすじ 与太郎という名のちょっと調子外れな子供が父親に言われ、お小遣い目当てでおじさんの新築の家を褒めに行く。おじさんの家は贅をこらした家で事前に家の褒め方を教えられた与太郎は、間違えながらもなんとか褒め続ける。おじさんに偉いねえと言われ調子に乗った与太郎は庭にいる牛も褒めるが…。「与太郎」は落語ではいろいろな噺に出てくる人物で、間抜けなところもあり失敗も多いが、いつもお気楽に振る舞い、どこか憎めない周囲に愛される面白いキャラクターです。 ●「初天神」あらすじ 男が天満宮へ参拝に行こうと思いついたが、奥さんから子供も連れて行ってくれと頼まれて渋々連れて行くことに…。あれ買ってくれ、これ買ってくれとねだらないと約束したのに、「いい子にしてたでしょ？」と言ってやっぱりねだってくる子供。そんな親子のやりとりに、現代の子供たちも思わず噴き出します。この噺に登場する親子は、子供のほうが一枚上手で親も手こずりながらも可愛くてしょうがないという落語に典型的なほのぼの親子です。 ※今は使わない言葉や難しい用語も出てくるが、子供たちに分かりやすいように言い換えたり、柔軟に対応します。					
演目選択理由	どちらも学校公演ではよく演じられ、子供にも受け入れられやすい古典落語です。 登場人物も落語に出てくる典型的な人物で分かりやすく、表情やしぐさも面白く、つい笑ってしまうような楽しい内容です。 オチも秀逸で、寄席でもよくかかる演目です。 落語を聞き始める児童・生徒向けに良い一席です。 ※両方の演目が必ず公演にてかかるとは限りませんが、要望があれば出来るだけ対応し、優先して口演します。					
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	●出囃子(太鼓)での共演※落語(小噺)代表児童の出囃子の太鼓を演奏 出囃子(公演中、出演者が入れ替わる際に演出する寄席囃子のこと。三味線と太鼓で成り立っている音楽)を、児童生徒の代表が太鼓演奏を行い、舞台上で当協会のお囃子(三味線演奏者)と共演し、公演を演出する。この際、和服・袴を着用し、出演者の一員として共演する。 ●落語(小噺)での共演 出演者の落語を鑑賞する前に、児童生徒の代表に短い落語(小噺)を高座で披露してもらい共演する。この際、和服・袴を着用し、高座返し・めぐり返しなど普段前座がやっている役割を担い出演者の一員として共演する。					
出演者	①落語 [前 座] 三遊亭美よし(予定) ②落語 [二ツ目] 春雨や晴太(予定) ～仲入り(休憩)～ ③曲芸 鏡味正二郎(予定) ④落語 [真 打] 春風亭柏枝(予定) 他 お囃子1名					
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 6 名 スタッフ: 4 名 合 計: 10 名		機材等 運搬方法	積載量: 1 t 車 長: 4 m 台 数: 1～2 台		

【公演団体名 公益社団法人 落語芸術協会 】

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		2.5 時間程度	
	仕込みと本公演の間に代表児童生徒の和服着付け・リハーサルを行います。12時40分～13時10分頃					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～11時30分	13時30分～15時10分	10分	15時30分～17時	17時
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		300名程度			
	本公演		300名程度			
ワークショップ 実施形態及び内容	場所は多目的室など少しコンパクトで集中できる環境が適しているが、ない場合は体育館でも良い。長机などを利用して簡易的な高座を設営し、希望者には高座に上がって体験してもらう。内容は落語解説、所作の説明(扇子と手拭いを使って何を表現しているかクイズ形式でやりとりをする等)、一分線香(会話のみの短い落語)、鳴り物について、一番太鼓・二番太鼓・追い出し太鼓(映画館等のブザーの役割)、効果音、出囃子演奏と解説。扇子と手拭いを使った所作や小噺、出囃子の太鼓等を希望者に体験してもらう。本公演の代表児童生徒の指導。時間があれば落語一席。など					
ワークショップ 実施形態の意図	落語は1人が演じるものを、鑑賞する人によって物語の場面や人物を想像して楽しむものであることから、話に集中できる環境での実施が望ましい。初めて落語を聞く・接する子供たちには特に意識を集中してもらいたいので、外の音が気にならないような場所での実施が適する。 落語を通して、人に物事を伝えるにはどう工夫したら良いか自ずと考えることにもなる。実際に高座を体験すると人前で話したり演じることの難しさや伝わったときの喜びを味わうことができ、自信につながる。これらのことからコミュニケーション能力の向上にも期待するものである。					
特別支援学校での 実施における工夫点	視覚障害の児童生徒に対してはワークショップ、本公演共に高座の設えなども丁寧に説明し様子が想像しやすいように工夫する。本公演において、落語は聞いた内容を想像して楽しむことができるので問題ないと思われるが演芸に関しては、耳で聞いて楽しめるもの(動物ものまね)に差し替えるなど学校の状況に応じて調整する。聴覚障害の児童生徒に対しては、学校の先生と相談協力しながら落語の内容が分かるように台本を準備するなど当日楽しめるように工夫する。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

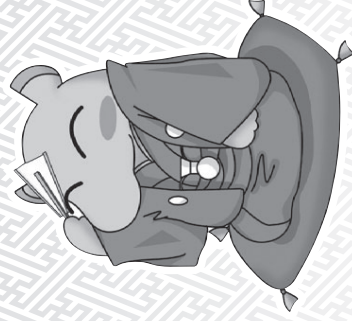
文化芸術による子供育成総合事業
令和3年度
巡回公演事業

演藝心演

桂 南太郎
三遊亭 遊子
鏡 味 味子代
昔昔亭 桃之助

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を経験する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につながることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」



制作 公益社団法人 落語芸術協会

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎2階 公益社団法人 落語芸術協会

TEL: 03-5909-3080 FAX: 03-5909-3082

ホームページ www.geikyo.com Eメール info@geikyo.com

表紙イラスト：とつか りょうこ

知ってますか？ ～ 10月1日は「国際音楽の日」です ～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とするとしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

組 番
ぐみ ばん

お 嘩子 足立 奈保
お は や し あ だ ち な お
が つ こ う だ い ひ よ う ら く こ
学 校 代 表 諮 議

佳 南太郎

川邊町

仲入り (なかしり)

鏡 味
味 千代

高橋 桃之助



桂 南太郎



11 中
 10 類
 02 部
 01 類
 01 部



味千代
鏡味



桃之助 音亭

© 船橋の始まり

[illegible]

© 機器のカタリ

[illegible]

◎機器の形

■ 4F (各席の和) ■

一人の断髪が複数の道場人物を演じ分けるため、顔を左右に回して話し相手。身元の違いや、家内・外に全話ある場合、目上の番を外から話しつづける。上手（総番から真し目）を回して話し手になりかわるためなど。指で。

持ち道具

100% 100% 100%

手ぬぐい(てぬぐい)の二重(にじゅう)を折(ひ)りて小鏡(こきよう)を手に(てに)抱(かか)りて女(を)に對(む)ひて云(い)ふ。我(われ)の
世界(せかい)を創(つく)つていまま。扇(あふぎ)子(こ)はあき・筆(ふで)・刀(やいば)・キセル(きせる)など。手ぬぐい(てぬぐい)は財
布(さいふ)・煙草(えんそう)入れ(いれ)・巾着(きんちやく)など。以(もつ)て眞立(まなたち)にて使(つか)ひます。

■ 大々 (90%) ■

2019年12月15日
 11月15日

子・とたん才子・仕草草才子・^{V+O}考え才子・^考間拔才子などがあります。

۲۳۱۵

新日

た。事前に演題を発表しながら聴衆には、断髪はくつにお姫様の区別を
 張ったような演出にするつもりです。

© 2016 上海译文出版社

[illegible]

◎新装(初版)の巻

所^{しよ}な^なし^しか^か せん^{せん}ど^ど くら^{くら}ひ^ひ

[illegible]

みなさん初めまして、ほくはバク助です。

言語芸術協会のマスコミキャラクターとして生まれました。^{ご自身}子供のころからうたがうのが大好きで、^{お母さん}母さんにもうたがうのを聞いてもらいたいと思ってたからなんです。

落語ってちょつとおずかしそうな感じがするよね。

もしうたがうことも今も少しづつうたがうし、名前なんか聞いたことでもない道楽がいつぱい出てくるし、はじめてだとわからないことだらけだね。

みんなおずかしいことをほくがわかりやすくおしえてあげるよ。

でも、ほくも生まれたばかりだからぜんぶん知ってるわけじゃないんだ。

ナドこれから落語のことをいっぱい勉強していくからだいじょうぶ。

だからみんなもほくのことを応援してね。

●公益社団法人 落語芸術協会

公益社団法人芝居芝居協会は、香
芝居をいふ普及と後生に伝えるを目的
5年10月に日本芝居協会として設立。
昭和52年12月に法人結成され社団
法人「公益社団法人芝居芝居協会」に改称。
平成23年4月に公益社団法人「芝居芝
芝居協会の名で活動。
郷土と芝居（田舎芝居）香紙切り
（俗曲等）お囃子を入れ、会員数250
名といる。年毎に大防演である。
当協会は芝居芝居の責任団体とし
て、東京の芝居の広域を始め全国各地
の会館や学校で主催される「芝居芝
芝居」の企画制作を行い、芝居の普及
に努むる。
また芝居以外に郷土にゆかりをい
午演劇50ステージに及ぶ若手による芝
語会を催している。
現在、会長は香國亭亭長のやとに濱
香國保のリーダー格として位置づけら
れている。



〒160-0023
東京都新宿区西新宿6-12-30
芸能花伝舎2階
公益社団法人 落語芸術協会
TEL.03-5909-3080 FAX.03-5909-3082
www.geikyao.com
info@geikyao.com

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	B28	分野	伝統芸能	種目	演芸	ブロック	B	区分	A区分
公演団体名	公益社団法人 落語芸術協会				制作団体名	公益社団法人 落語芸術協会			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談
控室について	必要数 *	1室	条件		着替えのためカーテンが閉まると有難いです。カーテンがない場合は布や模造紙などで目隠しをお願いします。			可
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			バン	2台			不可
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細							
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			バン(ハイエースロング程度)				不可
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			30m以内				可
	搬入経路の最低条件			雨天時、雨が避けられる経路の確保ができること。				不可
	理由			大道具が雨に弱いため				
	設置階の制限 *			2階以上不可				不可
	搬入間口について 単位:メートル	幅	1.8m	高さ	1.8m			不可
WSIについて	参加可能人数	300名程度						可
	学年の指定の有無 *	なし	指定学年 *					—
	所要時間の目安 単位:分	90分程度						可
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	鑑賞可能人数		300名程度					可
	舞台設置場所 *		体育館のステージ上					可
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	指定なし	奥行	指定なし	高さ	指定なし	—
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要			可
		舞台袖スペースの条件 *			袖に荷物が無い状態			可
		緞帳 *	不要		バトン *	不要		—
	遮光(暗幕等)の要否 *		要	理由	舞台に集中してもらうため			可
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		要	※指定位置は会場設置図面に て御確認ください。			可
		ピアノの事前調律 *		不要			—	
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			可	
	公演に必要な電源容量		30A	※主幹電源の必要容量			可	
	その他特記事項							応相談
	出演者が体育館舞台袖に直接出入りできる出入口がない場合は、入口から舞台袖までパーテーションや布などで動線を可能な範囲で目隠ししていただけると有難いです。							可

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

